

## あ と が き

### ・ 初版

この著作は、当協会が先に作成した「放射線と遺伝」、「放射線とがん」、「放射線と胎児」をもとにして、放射線の人体に対する影響について解説したものです。より詳細なことについてお知りになりたい方は、これらの資料を参照して下さい。

本書の作成にあたっては、右記三書の纏めにおいてそれぞれ委員長として監修の労を担っていただいた次の三人の先生方のご指導を得ました。あらためて感謝の意を表します。有り難うございました。  
美甘和哉 旭川医科大学名誉教授      佐藤弘毅 放射線医学総合研究所科学研究官

亀山義郎 名古屋大学名誉教授

また編集にあたっては、藤岡淳介、御子柴高史、長沢光男の三氏のご協力を頂きました。有り難うございました。

放射線影響協会      常務理事 斎藤 修

### ・ 増補改訂にあたって

「放射線の影響がわかる本」は一九九六年の初版以来、多方面から好評とともに、記述の追加などの要望をいただきました。

このため、改訂にあたって、放射線の利用と管理について一章を設けるとともに、JCOの臨界事故、アイソトープによる被ばく事故を追加することといたしました。本書が、放射線、原子力の利用に不可欠な放射線影響の正しい理解に役立つことを期待します。

放射線影響協会      常務理事 金子 正人

放射線の影響がわかる本

1996年 3月 初版発行

1997年 11月 改訂

2000年 11月 増補改訂

発行所 財団法人 放射線影響協会

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町1-9-16

TEL 03-5295-1481